

## NSF、次世代北極研究船「シクーリアック」を進水（10月13日）

米国国立科学財団（National Science Foundation：NSF）は10月13日、マリネット造船所（Marinette Marine Corporation：MMC、ウィスコンシン州マリネット）及びアラスカ大学フェアバンクス校（University of Alaska, Fairbanks：UAF）と共同で、世界最大規模の次世代研究船「シクーリアック（Sikuliaq）」を進水させたことを明らかにした。

同船は米国再生・再投資法（American Recovery and Reinvestment Act：ARRA）予算を利用して建造されたもので、UAFの水産学部（School of Fisheries）及び海洋科学部（School of Ocean Sciences）が米国学術研究船団（U.S. Academic Research Fleet）の一環として操船を担当する。NSFのARRA予算による単一助成額としては最高額となる2億ドルが投資された同船は、学術研究船団初の海氷に対応可能な国際研究船で、年間約500人の研究者及び学生を、海上で年間最長270日間支援することが可能となっており、北極海の環境・生態系の研究において重要な役割を果たすものと期待されている。

同船の第1回科学ミッションは、2014年初旬に開始予定で、UAFのスワード海洋センター（Seward Marine Center、アラスカ州スワード）から出港する。

National Science Foundation, National Science Foundation Launches Arctic Research Vessel  
[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=125707&WT.mc\\_id=USNSF\\_51&WT.mc\\_ev=click](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=125707&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click)